

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	哲学概論A (Introduction on to Philosophy A)		授業コード	K004801
担当教員名	藪内 聡和		科目ナンバリングコード	K10903
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	※選択(教職課程専門科目の備考をよく読むこと)	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	哲学概論Bを履修することが望ましい。			
受講心得	私語・遅刻・居眠りをしないこと。			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	授業中に適宜指示します。			
関連科目	哲学概論B、哲学			

授業の目的	哲学は特別な学問ではありません。なぜなら哲学しない人間はいないからです。例えば、私達は、人生につまずいたとき、人生の意味を考えることがあります。これは既に哲学しているのです。私達は、よりよく生きようと思ひ、人生の意味を考えます。つまり、よく生きるためには、哲学することが重要なのです。ただし、有限な存在である私達が考えることのできる範囲は限られています。よりよく考えるためには哲学者が何をどう考えてきたのかを知ることが必要です。この講義の目的は、私達一人一人が深く考えることができるように、哲学者の思想を学び、自ら哲学する基礎を培うことです。
授業の概要	講義形式で哲学史を学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ソクラテス ソクラテスの問答法とは、街頭や広場で市民に語りかけ討論し問答を繰り返しつつ真なるもの正しいものに近づいていくことであること、及び、魂の配慮とは、魂を正しく保ちよく生きることであることを解説します。	授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第2週：プラトン1 -イデア論- プラトンは、師であるソクラテスの刑死に直面して政治への情熱を失ひ哲学に専念したこと、人間の知識を真知と臆見に分類したこと、二世界説を唱え、世界をイデア界と感覚界に区別したことを学習します。	授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第3週：プラトン2 -理想国家 プラトンは、正義が魂の本来的なあり方に関わり、人間の魂の構造にしたがって理想国家が建設されなければならないと考えたこと、この理想国家は共産主義的であり、政治家であるとともに哲学者である哲人王がこの国家を統治すべきであると主張したことを学びます。	授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第4週：アリストテレス1 -形而上学- 質料と形相、四原因説を論じたアリストテレスの形而上学とはどのようなものかを説明します。	授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第5週：アリストテレス2 -倫理学- 中庸の徳を論じたアリストテレスの倫理学を説明します。	授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第6週：ヘレニズムの哲学1 ストア派、エピクロス学派の哲学がどのようなものであるかを学びます。	授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第7週：ヘレニズムの哲学2 懐疑派、宗教時代の哲学がどのようなものであるかを学びます。	授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。

第8週：新プラトン学派 プロティノスの流出説、倫理学について学びます		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第9週：アウグスティヌス1 -キリスト教の登場- イエスの宣教とともに始まったキリスト教は、イエスがローマへの反逆者として十字架刑に処された後、パウロの伝道により、ユダヤ教の制約をはなれて、ギリシャ・ローマの世界へ広がり、ついにはローマの国境になったことを学びます。		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第10週：アウグスティヌス2 -「神の国」と「地の国」- アウグスティヌスによれば、政治は、善なる神がつくられた善なる秩序としての創造の秩序を前提としており、罪を背負いつつおのれを空しくして神への愛に生きる人々からなる神の国と、自己を誇って自己愛に生きる人からなる地の国が織りなす闘争のドラマであることを考察します。		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第11週：マキャベリ マキャベリは、共通善や自然法、正義といった規範を中心とせず、あるがままの現実に視点を据え、そこからいかに安定した秩序を創出するかを考察することによって、政治を神学・倫理学から解放し、リアリズムの政治を提唱したことを学びます。		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第12週：トマス＝モア トマス＝モアは、理想を踏みにじる現実の政治や社会に対する批判を留保し、所与の制度と理想との架橋を断念することによって、完璧で最善の社会としての理想国家＝ユートピアを構想したことを学習します。		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第13週：ホッブズ 自然状態を「万人の万人に対する闘争」として捉え、国家の成立のためには自分の権利を一つの合議体が君主に譲渡すべきであると考え、国家は絶対主義国家でなければならないと主張したホッブズの思想について考察します。		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第14週：ロック 自然状態を自由で平等な状態であるとみなすけれども、たいていの人が、他人の生命・健康・身体を侵してはならないという自然法を遵守しないため、各人が自由を共同社会の代表者にゆだねることによって国家を成立させるべきだと考えたロックの思想を学習します。		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第15週：ルソー 自然状態において人間は完全な自由・平等・独立を享受しているけれども、土地・私有財産・富を持つことで自然状態がくずれ、共同体の各構成員の身体と財産を共同の力で防御し保護する社会契約が必要であると考えたルソーの思想を学びます。		授業で学ぶ哲学者の生涯を調べておいてください。授業で学んだ哲学者の著作や関連図書を読んでください。
第16週：期末試験 授業で学んだ内容を試験問題とします。持ち込みは不可です。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	哲学史に興味を持てたか。
【知識・理解】	西洋哲学史の概略が理解できたか。
【技能・表現・コミュニケーション】	公民科・社会科の倫理分野の基礎的な知識を習得できたか。
【思考・判断・創造】	哲学的な考え方の基礎を習得できたか。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	25点			
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	25点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	25点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	25点			
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	